



在京磐高同窓会セミナー

『いわきの未来を共に考える』 --- SDGs・ESG時代を行く都市モデルの考察



2025年（令和7年）11月18日

18時半～@京橋区民館

（P.26に 地図、経路案内掲載）

世話人

在京磐高同窓会 副会長（36回）

星野 一路



在京磐高同窓会セミナーについて



セミナーの意図

在京磐高同窓会では、定期的に、首都圏在住の会員やご家族向けに、各界で活躍されている磐高卒業生や外部講師をお招きし、“～先輩に学ぶ特別講演会～”と題してセミナーを実施しています。

講師の貴重な体験談や人生訓に触れつつ、会員同士の親睦の場としても毎回盛り上がっています。

昨今では、在校生向け進路講演会として、21年11月と24年5月にいわきでの出張講演を行い、進路意識と職業観を考えてもらう上でも大変有意義であったと好評を博しました。

<https://iwako-zaikyo.com/seminar/>

--- 当同窓会HPに過去4回のセミナーの様子を掲載

今回のセミナーは「座談会」形式で

11月18日（火）、18時半～@京橋区民館

今回は、『いわきの未来を共に考える』と題して開催を予定しました。

気候が温暖で一年中ゴルフが楽しめ、海に山に魅力満載のサンシャインシティも、近年人口減少に歯止めがかからず、いわき駅前の空洞化に心を痛めている地元出身者が大勢いらっしゃると思料いたします。

そこで、復興のシンボルとしてSDGs・ESG時代を先駆するいわきのあり方を、参加者と**座談会形式**で意見を交わせればと思います。また、磐高が地元のために、またグローバルに活躍する人材を輩出し続けるべく期待されることについても伺えれば幸いです。本同窓会副会長の星野（36回）が世話人を務めます。

当日ご提言いただいた内容は、後日まとめていわき市及び磐城高校などにフィードバックさせていただきます。是非みなさまの熱い思いをお寄せください。

開催場所は、東京中央区の「京橋区民館」に決定しました。

参加無料です、申込案内は別途在京磐高同窓会HPからさせていただきます。よろしくお願いいたします。

<https://iwako-zaikyo.com/topics/>

--- 当同窓会HP（トピックス）から本イベントご案内



市章に込められた思い



いわきのアイデンティティ

市章

いわき市の頭文字「い」を図案化したもので、**本市の発展と融和団結、円満、平和を表徴**しています。
(昭和42年10月1日制定)



シンボルマーク

いわき市の「い」と、**未来に向けて「ひとまち自然」が輝く姿を太陽でエネルギーにデザイン**しています。躍動的な「い」は人の姿も意味しており、活力と熱意にあふれる市民の行動をシンボライズしています。
(平成4年11月10日制定)



IWAKI CITY



いわき市

出所：いわき市HPより引用



いわきを象徴する 自然、産物、文化・風土



われらの街いわき





いわきを象徴する 自然、産物、文化・風土



われらの街いわき

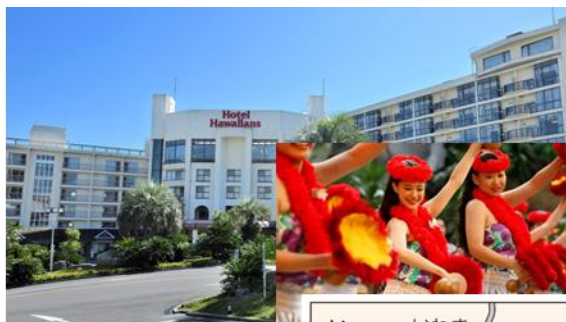




いわきを象徴する 自然、産物、文化・風土



われらの街いわき





いわきを象徴する 自然、産物、文化・風土



われらの街いわき

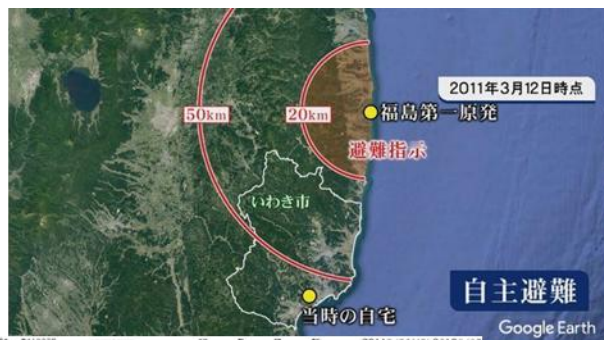




いわきを象徴する 自然、産物、文化・風土



われらの街いわき





簡単にまとめるとどんな街？



われらの街いわき

参加者のご意見



いわきに係るファクト



いわき市 気候風土

いわき市小名浜

要素	気温			降水量	相対湿度	日照時間
	平均 (℃)	日最高 (℃)	日最低 (℃)	合計 (mm)	平均 (%)	合計 (時)
統計期間	1991～ 2020	1991～ 2020	1991～ 2020	1991～ 2020	1991～ 2020	1991～ 2020
1月	4.1	8.6	-0.1	57.3	58	193.4
2月	4.3	8.9	0.1	54	59	180.3
3月	7.1	11.5	2.8	108.4	62	191.4
4月	11.6	15.8	7.4	125.2	68	192.8
5月	15.8	19.6	12.3	146.1	76	193
6月	19.1	22.6	16.4	149.5	83	150.3
7月	22.5	25.8	20.1	160.7	86	151.1
8月	24.5	27.9	22	122.6	84	183.1
9月	22	25.4	19	192.3	80	144.5
10月	16.9	20.9	13.2	193.1	75	147.3
11月	11.5	16.1	7.1	80.3	69	162.4
12月	6.6	11.1	2.1	51.3	62	179
年	13.8	17.9	10.2	1440.7	72	2068.6

(気象庁統計)

2022年	平均気温	降水量	日照時間
都道府県平均	16.1	1,550	2,047

91年～20年平均	平均気温	降水量	日照時間
いわき小名浜	13.8	1,441	2,069

全国平均と比較して、
年間を通して、暑すぎず、寒すぎず、
雨は少な目、雪はほとんど降らず。
日照時間も平均以上、もちろん東北No.1
温暖で、フラシティの名に相応しいまち！



いわきに係るファクト



いわき市 市勢概要

いわき市は、福島県の東南端、茨城県と境を接する、広大な面積を持つまちで、東は太平洋に面しているため、寒暖の差が比較的少なく、温暖な気候に恵まれた地域です。

地形は、西方の阿武隈高地（標高500から700メートル）から東方へゆるやかに低くなり、平坦地を形成し、夏井川や鮫川を中心とした河川が市域を貫流し、太平洋に注いでいます。

人口 : 314,731人 (令和7年5月1日現在)
世帯 : 141,570世帯 (令和7年5月1日現在)
面積 : 1,232.51km² (令和6年4月1日現在)
位置 : 北緯37度03分02秒、東経140度53分16秒 (令和2年4月1日現在)

年	世帯数	人口			人口密度 (人/km ²)	1世帯当 たり人員
		計	男	女		
10 (1998)	122,508	361,934	176,605	185,329	294	2.95
11 (1999)	123,628	361,336	176,259	185,077	293	2.92
12 (2000)	123,864	360,138	175,679	184,459	293	2.91
令和元年(2019)	143,699	340,205	168,281	171,924	276	2.37
2 (2020)	141,411	332,931	163,525	169,406	270	2.35
3 (2021)	141,585	329,469	161,752	167,717	267	2.33
4 (2022)	141,621	325,730	159,917	165,813	264	2.30
5 (2023)	141,460	321,479	157,755	163,724	261	2.27
6 (2024)	141,682	317,814	155,919	161,895	258	2.24

市の人口は、左下図の通り、1998年をピークに減少に転じ、減少の一途。現在市では、2030年には30万人を割り、2060年には20万人レベル迄減少することを想定し、今後の市の在り方を検討するとの姿勢

出所：いわき市HPより引用



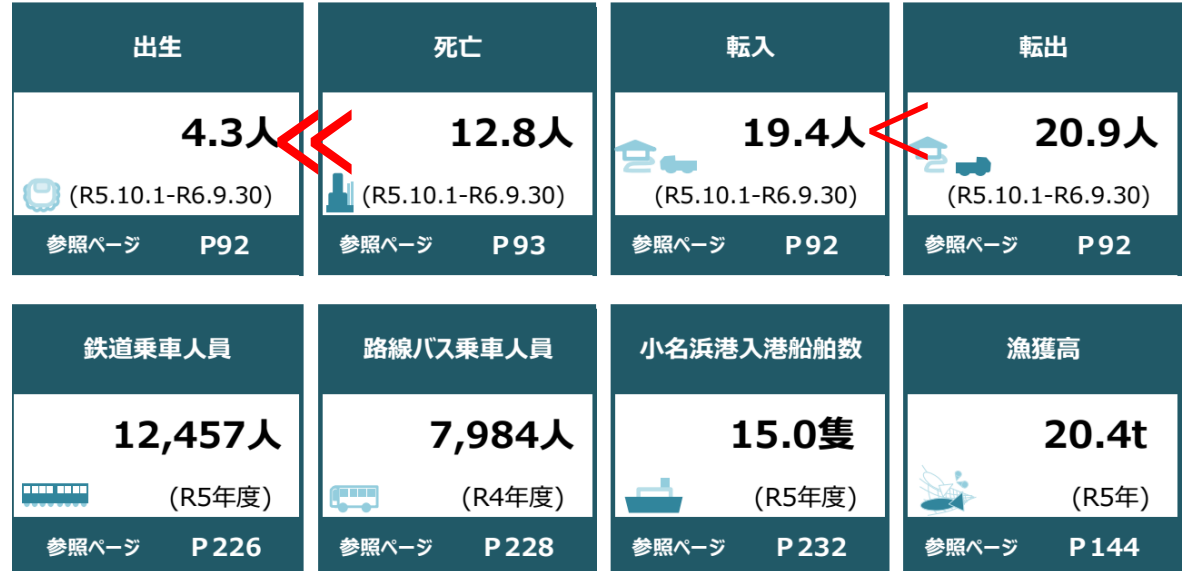
いわきに係るファクト



いわき市 各種統計①

統計から、いわき市の人口減少のペース
(4ヵ年平均増減率)は△2.446%、
中核市の中では下位 (自治体四季報による)

いわき市の1日



上記出所：いわき市HP いわき市統計書（R6年版）より引用

（注）鉄道乗車人員は、常磐線いわき、内郷、湯本、泉、植田、勿来、四ツ倉のみの合計

左記出所：wikiベディ ア いわき駅の1日乗車人数推移

いわき駅 1日平均乗車人員推移			
年度	定期外	定期	合計
2000年（平成12年）			8,035
2001年（平成13年）			7,960
2002年（平成14年）			7,919
2003年（平成15年）			7,541
2004年（平成16年）			7,246
2005年（平成17年）			7,031
2006年（平成18年）			6,828
2007年（平成19年）			6,650
2008年（平成20年）			6,487
2009年（平成21年）			6,268
2010年（平成22年）			6,004
2011年（平成23年）			4,175
2012年（平成24年）	2,492	3,503	5,996
2013年（平成25年）	2,504	3,632	6,136
2014年（平成26年）	2,494	3,415	5,910
2015年（平成27年）	2,600	3,541	6,142
2016年（平成28年）	2,555	3,536	6,092
2017年（平成29年）	2,533	3,495	6,028
2018年（平成30年）	2,459	3,412	5,872
2019年（令和元年）	2,339	3,351	5,690
2020年（令和 2年）	1,271	2,979	4,251
2021年（令和 3年）	1,344	2,852	4,197
2022年（令和 4年）	1,796	2,866	4,662
2023年（令和 5年）	2,066	2,933	4,999



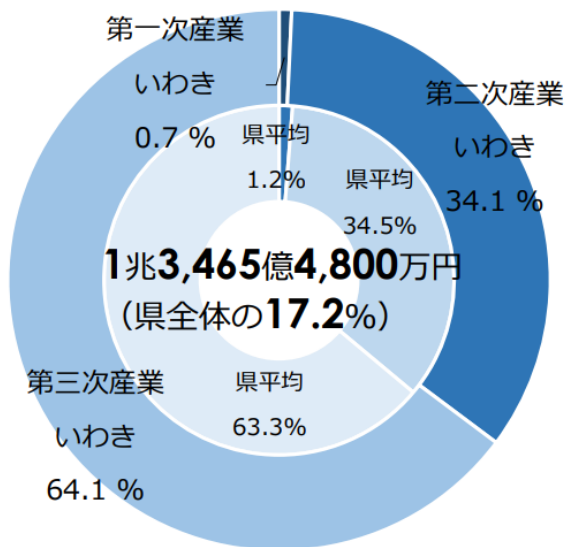
いわきに係るファクト



いわき市 各種統計②

統計値等出所：いわき市地方振興局資料より抜粋

◆ 市町村内総生産（R3）



※県統計課「令和3（2021）年度福島県市町村民経済計算年報」より作成

第一次産業：農業・林業・漁業

第二次産業：鉱業・建設業・製造業

第三次産業：電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、学術研究・専門・技術サービス業、飲食店・宿泊業、生活関連サービス業・娯楽業、教育・学習支援業、医療・福祉、総合サービス事業、サービス業（他に分類されないもの）、公務（他に分類されるものを除く）

Memo

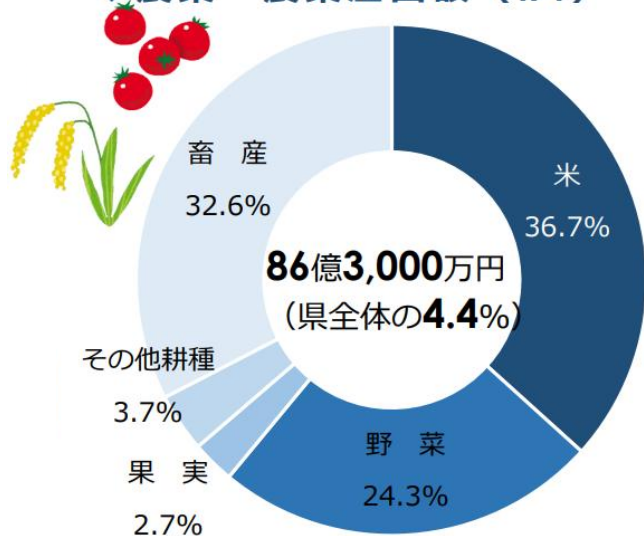


いわきに係るファクト



いわき市 各種統計③

◆農業－農業産出額（R4）－



※農林水産省「令和4年市町村別農業産出額（推計）」より作成

米は、いわき産コシヒカリを「Iwaki Laiki」（いわきライキ）のブランドで販売。
温暖かつ長い日照時間をいかしたトマト・いちご等の施設園芸や日本なし栽培が盛ん。

統計値等出所：いわき市地方振興局資料より抜粋

◆林業－林業生産額（R2）－

15億8,900万円（県全体の**23.2%**）

生しいたけは県内生産量の40%（第1位）



【主要林産物生産実績（R3,R4）】

林産物	年区分	生産量	対県構成比
素材（千m）	R3	168	17.6%
製材品生産量（千m）	R3	144	35.0%
木炭（kg）	R4	3,050	4.9%
生しいたけ（t）	R4	1,349	40.3%
なめこ（t）	R4	325	18.8%

※県農林水産部「令和5年 福島県森林・林業統計書（令和4年度）」より作成

◆水産業－漁業生産量（R5）－

約7,447トン（県全体の**59.5%**）

※県水産課「福島県海面漁業漁獲高統計（令和5年版）」より



魚種別にみると「いわし類、さば類、かつお・まぐろ類」が大きな割合を占める。
海産魚介類の放射性物質はほとんど不検出。試験操業は令和3年3月31日で終了。

⇒令和3年4月からは本格操業に向けた移行期間として、計画的な生産拡大を推進中！



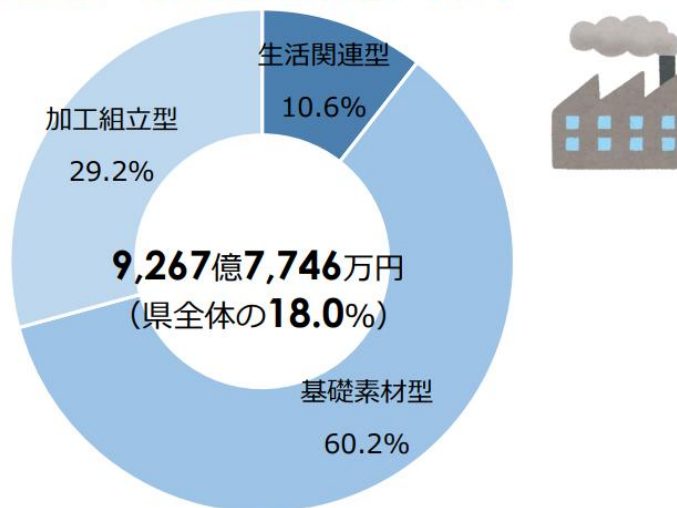
いわきに係るファクト



いわき市 各種統計④

統計値等出所：いわき市地方振興局資料より抜粋

◆工業－製造品出荷額（R3）－



※県統計課「令和3年福島県の工業【2022年経済構造実態調査（製造事業所調査）福島県版集計】」より作成

製造品出荷額は東北2位の工業都市！
港湾機能をいかした化学工業等の基礎素材型産業が盛ん。

生活関連型：（産業中分類）食料、飲料、繊維、家具、印刷、皮革、その他

基礎素材型：（産業中分類）木材、紙、化学、石油、プラスチック、ゴム、窯業、鉄鋼、非鉄、金属

加工組立型：（産業中分類）はん用機械、生産機械、業務用機械、電子・電気・情報機械器具、輸送

Memo



いわきに係るファクト



いわき市 各種統計⑤

統計値等出所：いわき市地方振興局資料より抜粋

◆ 商業－年間商品販売額（R3）－

8,494億円（県全体の**18.3%**）
卸売業：4,415億円
小売業：4,079億円

※県統計課「令和3年経済センサス-活動調査（卸売業、小売業）結果報告書」より

中でも卸売業販売額では繊維・衣服等卸売業の割合（7.1%）が県全体のその割合（1.7%）の倍以上と特徴的。

◆ 観光－観光客入込数（R5）

6,869,015人

※R4: 5,462,975人

R5年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行により観光需要が回復し、大型イベントの全面開催等人流拡大により増加となったが、依然として震災前の水準には達していない。

【主な観光地店別観光客入込数】

		R4年	R5年
		入込数（人）	入込数（人）
行楽地	アクアマリンふくしま	545,387	604,851
	いわき・ら・ら・ミュウ	1,254,400	1,375,300
	夏井川溪谷	34,584	40,818
	新舞子海岸	162,616	204,412
スポーツ・レクリエーション	スパリゾートハワイアンズ	948,159	1,265,520
	ゴルフ場	531,407	533,873
温泉	いわき湯本	203,258	212,353
海水浴	勿来・小浜	8,898	9,658
	四倉	16,142	14,120
行事	夏祭り	213,500	363,500

※いわき市観光振興課「令和5年市内観光入込客数」より作成

Memo



いわきに係るファクト



いわき市 経済統計

産業別市内総生産比較：いわき vs 郡山、水戸、四日市

(単位：100万円)

市町村名	市町村内 総生産	第1次産業				第2次産業			
		農林水産業	農業	林業	水産業		鉱業	製造業	建設業

比較優位ながら、
100億円程度の規模

流通・卸売、金融、
ソフト産業が脆弱

第3次産業														輸入品に 課される税 ・関税等
電気・ガス・水道・ 廃棄物処理業	卸売・ 小売業	運輸・ 郵便業	宿泊・飲食 サービス業	情報 通信業	金融・ 保険業	不動産業	専門・科学技術、 業務支援サービス業	公務	教育	保健衛生・ 社会事業	その他の サービス			

(令和4年度)

いわき市	1,381,553	10,699	4,545	1,939	4,216	478,773	2,340	384,574	91,859
------	-----------	--------	-------	-------	-------	---------	-------	---------	--------

人口31万人

881,115	48,189	148,985	62,524	26,407	27,766	38,918	147,910	93,958	66,229	43,926	128,289	48,013	10,966
---------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------

(令和4年度)

郡山市	1,406,688	8,087	7,232	752	104	304,210	1,122	227,269	75,819
-----	-----------	-------	-------	-----	-----	---------	-------	---------	--------

人口31万人

1,083,225	36,846	223,502	57,956	25,295	38,331	65,769	163,472	170,832	54,721	48,427	147,876	50,199	11,166
-----------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	--------	--------	---------	--------	--------

(令和4年度)

水戸市	1,382,743	6,118	5,999	48	71	158,313	60	71,359	86,895
-----	-----------	-------	-------	----	----	---------	----	--------	--------

人口約27万人

1,204,144	26,043	213,014	47,485	26,443	92,399	99,973	116,370	209,389	98,974	60,065	147,032	66,957	36,359
-----------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	--------	--------	---------	--------	--------

(令和3年度)

四日市市	2,093,145	3,158	2,157	210	792	1,105,611	2,067	1,010,893	92,650
------	-----------	-------	-------	-----	-----	-----------	-------	-----------	--------

人口31万人

※ 四日市市の分野別計数は同地域内の分野別占有割合
から推計

968,228	37,955	141,361	128,774	18,977	27,401	52,768	158,208	96,823	69,616	52,768	118,124	65,452	16,148
---------	--------	---------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------

統計値等出所：各県HP統計資料より引用



いわきに係るファクト



統計から読み取れる強み・弱み

参加者のご意見



理想と現実



掲げた理想と直面する課題

--- 世話人の整理

いわき市が掲げてきた/掲げている理想

かつて : 中核市として人口50万人への成長を目指す！

現在 : 少子化・高齢化社会に向き合った住みよく、魅力にあふれる街

→ 明確なビジョンがないのでは？

希望に満ちたゴールイメージ

諦めの境地？

理想と現実とのギャップ

結局、他都市より早く人口が減り続け、都市の空洞化に抗えないジレンマ

いわき市の長年の課題

- 石炭産業の斜陽化がもたらした昭和の大合併
合併から59年経ついまも地域間感情が残り、まちづくりの『具体的ゴール』がまとまらない
まちの中心『核』がいつまでも形成されない
- 東京志向が他都市よりも強く、若い世代を中心に転出過多
→ 客観的に「魅力のない街」

Memo



理想と現実



掲げた理想と直面する課題

現実：平成以降の地方の街

駅前商店街

住宅街

--- 世話人の整理



スルー/閑古鳥

単一目的地
郊外ショッピングモール等



Park & Ride指定駐車場

人が集い練り歩く街

理想？：人が集い元気な街

お金が循環して富が増す街



理想と現実



課題を生んだ要因

--- 世話人の仮説

現実と理想とのギャップを生んだ要因 (いわき & 地方衰退の構図 (仮説))

政治・経済

自民一強の55年体制

小選挙区制

55年体制の長期化

緊張感のない自民一強政治 → バブル以降のビジョン無し

- 農業軽視 → 低自給率
- 道路建設 & 新幹線誘致 → 都会がより近くに
- IT、半導体等、戦略産業振興で国際競争力低下
- エネルギー政策行き詰まり
- 後手後手の金利政策、金融リテラシー政策
- 社会を支える人材育成・インフラ軽視 → 保育士・介護人材不足
- 偏差値・丸暗記教育 → 哲学のない社会へ

高エネルギーコスト

次世代人材流出

テック人材不足

モノづくり産業斜陽化

保育所不足 → 少子化

老後不安 → 低消費

バブル後遺症、貯蓄偏重

長期デフレ

共働き・晩婚化

都会へ仕事探し

地元離れ

駅前空洞化

少子化・人口減少

社会・インフラ

テレビ社会

自動車社会

鉄道の速達化

戦後教育

ネット社会

流通の進化 → 東京資本流入・郊外出店

考えない社会へ

都会が日帰り圏へ

都会への憧憬

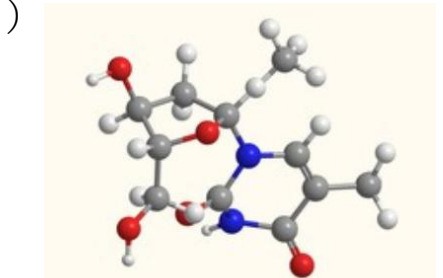
地方文化軽視

郊外・ネット完結

地域産業空洞化

コミュニティ
(繋がり) 希薄化

町おこし機運減退



政治・経済・社会の様々な矛盾
が複雑に絡み合い、今日の
地方衰退に繋がっている！？



理想と現実



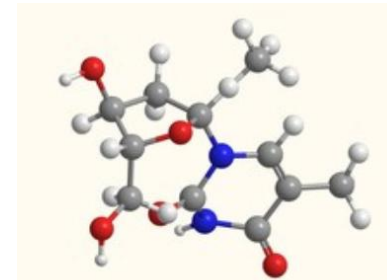
課題を生んだ要因

--- 参加者のご意見：まず**衰退の根本原因**の追究

参加者のご意見

(1) これからの理想の街のあり方

(2) 理想とかけ離れた（ギャップ）の要因



政治・経済・社会の様々な矛盾
を根本から是正する姿勢が
求められる！



現実を踏まえたこれからの街のあり方



SDGs/ESG時代の都市のビジョン

--- 世話人の整理

ビジョンと実行力ある
『有識者グループ』が

- ✓ 同じ強み・課題を持つ『（外国）都市と組んで』
- ✓ 未来の街を“変える”『企業・研究機関と本気で組んで』

- ◆ 基幹産業振興策
- ◆ インバウンド観光産業振興策
- ◆ コンパクトシティ化を軸にSDGs/ESG先進都市のイニシアティブ

を強力推進

いわきについて、具体的アクションとして例えば、

- 小名浜港の整備 → 世界から豪華客船が寄港する観光ハブへ
- いわき七浜アピール → 観光コース化と地元産物の販促をセットで
- ゴルフ場 → 1年中ゴルフがエンジョイできる“メッカ”に、世界からゴルファー招致
- 湯本温泉 → ハワイアンズだけじゃない湯本をアピール。外国人観光客の取込
- 旧所・名跡、文化遺産 → 勿来の関、阿弥陀堂、炭鉱跡、背戸峨廊、じゃんがら踊り等観光コース化
- 物産 → いわき山海の名産品のブランド化 --- 農林水産業に大いに発展余地あり
- スポーツ振興 ・ イベント → 定期興行として定着化させ、収益をもたらす仕組みへ
- 平のコンパクトシティ化、市内交通インフラ整備 → いわきの点と点を公共交通で繋ぎ、周遊ルート兼生活の足として充実、又、平をショッピングと文化交流のハブにしつつ、SDGs/ESG先進都市化し世界へアピール
- 次世代人材育成と新産業振興 → “復興のシンボル”として、教育機関の取組と新産業創造を推進、社会へアピール（＝福島県イノベーションコースト構想の具現化）

※ 既に上記の多くは何らか着手済と思料するも、進捗や成果は聞こえてこない現状



現実を踏まえたこれからの街のあり方



いわきのビジョンは？

--- 世話人の整理

- ➡ **どんな街にしたいのか？** --- 5年、10年、20年後のライフスタイルをイメージ
ビジョン(= 今はビジョンが不明確)を掲げよ※
国や県の賛同を得て
ロードマップを策定
ロードマップ上の各種取組事項を定義するアクションプランを策定

- ※ **ビジョン**(一例：P22参照)
地の利、風土を活かした産業が創造される街
Society5.0下のインフラを駆使し社会課題を解決し続ける街
➡ 人が集い、街が潤い、文化が涵養される街

☑ **根拠は？**

SDGs/ESG世界における今後の都市のあり方が問われている
Society5.0の枠組みを活かして、いかに21世紀理想の文化都市に進化させられるか？
ただし、明らかな成功事例がまだ確立されていない！
ならば、一番手に名乗りを上げよ！

(参考) 注目すべき取組事例

海外： ストラスブール、バルセロナ、釜山
日本： 富山市、徳島上勝町

市のHPを読むと、いかに時間をかけていわきを活気づけるための施策を検討してこられたかが読み取れる。

一方、10年後、20年後のゆたかな暮らしをイメージできるような明確なビジョンまでは示されていない。

➤ **つまり、各論は示されているが、ビジョンとビジョンを実現するストーリーがまだ未完成！**



現実を踏まえたこれからの街のあり方

いわき市への提言

--- 世話人の整理

長期視点に立った街の発展・成長のモデルをイメージアップすること！

- **ビジョンなき都市計画はお金の無駄遣い！**
市民の支持を取りつつ計画を推進！そのためには、
「明確なビジョン」と「健全な危機感」を市民と共有すること
これからの街のあり方について「市民の啓発」に注力すること
取組の進捗（例えばP22記載の様な取組）は逐次市民に情報開示すること
- **間違ったアプローチ**
過剰な道路建設
使われない施設建設 --- 人とお金の流れを呼べない地域への施設誘致
分散都市を助長する商業施設誘致
等々、、、
- **いわきの取るべきアプローチ**
住みたいまちに改造（P22参考）
 - ◆ 基幹産業振興
 - ◆ インバウンド観光産業振興
 - ◆ コンパクトスマートシティ化





現実を踏まえたこれからの街のあり方



いわき市への提言

参加者のご意見



《会場ご案内》

11月18日（火） 18時半～ @京橋区民館

〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目6-7、TEL: 03-3561-6340



京橋区民館

3.4 ★★★★★ (27)
コミュニティセンター・♿

JR八重洲口駅出て、徒歩8分
銀座線京橋駅6番出口から徒歩2分
都営浅草線京橋駅A7出口から徒歩2分

銀座線 & JRからは、パイロット
阪急阪神グリーンビル（※）と
みずほ銀行の間の細道から

浅草線からは、相鉄フレッサイン
がある細い通り沿いです





世話人自己紹介

星野 一路 （ほしの いちろ） 1965年（昭和40年）いわき平出身、磐高36回卒

1989年3月、大阪外語大（現阪大外国語学部）卒

同年 4月より富士銀行（現みずほ銀行）に勤め、国際部門に長く携わり、2023年3月退職

銀行時代には、海外3か所（ロンドン、ソウル、インドムンバイに計約15年）駐在を経験

2023年4月より、株式会社ファミリーライフサービス（戸建パワービルダー飯田グループ傘下の住宅ローン専門会社）代表取締役

在京磐高同窓会には2004年より参加。現在副会長幹事